景観チェックリスト (建築物)

たみの用式がなの4。の見知性性のことをサルトフェ												<u> </u>		
行為の場所が次の4つの景観特性のうち該当するも のに○を付してください。							周辺景観の特性							
						主	 主要道路の国道 160 号と国道 415 号に面し、							
谷筋集落 平地集落 沿岸部集落 市街地					周辺には朝日山や上庄川の自然景観がある。									
事項		基準						部	市街	具体的な配慮又はエ 内容	 	適否		
		岸、 ち並 の身	為の計画地及び 河川、里山等 並み等の景観上 景観づくりに適)、田園、歴5 の特性を把握 i切に反映させ	史、文化、ま し、当該行為 る。	0	0			計画地周辺の自然やるみに配慮し、外観は無を基調とする。				
		慮す	辺の景観と四季 けるとともに、 な発想や工夫の した魅力あふれ	水と緑の活用、 尊重などによ	、多様で創造 り、生き生き	0	0	0	0	道路と敷地の境界に終設け、四季の変化を懸ように配慮する。				
		・都市 法令 づく	5計画法、建築 → のほか、県の くりに関連する ○ 活動との整合	基準法、屋外の 条例、計画等の 施策や地域住	広告物法等の こ基づく景観	0	0	0	0	各種法令を遵守すると 国道沿いの景観づく!! に添うように配慮する	り活動			
基事		・谷底 川沼 氷見 ち並	0	0	0									
		・黒瓦の家並みが美しい市街地や、歴史的な面影を残す街道沿いのまち並みとの調和に配慮する。							0	黒瓦のまち並みと調系 ように建物の外壁に 金属パネルを採用する	黒色の			
		・氷見海岸などの海岸景観、急峻な谷筋や平地 を緩やかに流れる河川景観を保全するため、 それら海岸・河川景観との調和に配慮する。					0	0	0	建物の高さを抑え、国				
		・氷見の地形を特徴づける里山等の自然環境との調和に配慮する。												
			田や平地に広が こ配慮する。	ぶる良好な田園	園景観との調	0	0							
		・地形 地を	0	0	0	0	盛土、切土の高さを(以下とし、地形の変化 小限とする。		<u>-</u>					
建		・建築物の形態、まち並みの状況等に応じて、 まち並みとしての連続性や、道路境界等から の後退距離を工夫するほか、まち並みの連続 性が重視される地域では、まち並みを構成す る建築物の壁面線などに配慮する。					0	0	0	敷地〇側に建物を配置まち並みが連続する。 慮する。				
築	位置	• 敷地 木等	也内の歴史的な 等を保存するほ を損なうことの	建築物や工作なか、周辺のます。	物、優れた樹 ち並み等の景	0	0	0	0	建物の配置を工夫し、 内の既存樹木を残す。 慮する。				
物	· 高さ	・ま <u>す</u> 築物	ち並みや通りに 勿は建てないよ	□圧迫感を与え ○う配慮する。	える高さの建	,	0	0	0	建物の高さを抑え、 ら建物をOmほどセックさせ、通りや住宅 圧迫感を与えないよう する。	ットバ 宅街に			
		は、 スメ てな	・国道 160 号、国道 415 号等の幹線道路沿道では、海岸線及び立山連峰への眺望、山並みのスカイラインを著しく阻害する建築物は建てないよう配慮する。				0	0	0	建物は交差点から離れ 所に配置し、交差点が える山並みに配慮する	から見			
			売したまち並み。 こ配慮した壁面				0	0	0	連続性に配慮した壁配とする。	面位置			

		・主要な眺望点から、海岸線及び立山連峰への	J	[]			朝日山公園から眺める市街
		眺望、山並みのスカイラインを著しく阻害す	0	0	0	0	地の眺望を阻害しないよ
		る建築物は建てないよう配慮する。)))	う、建物の配置に配慮する。
		・過剰な装飾を避け、屋外設備機器等を遮へい					建物の装飾は簡素なものと
		するほか、むやみに広告物等を設置しないな					し、屋外設備機器は目立た
		ど、建築物自体がすっきりとまとまりのある	0	\circ	\circ	0	ない位置に配置し、全体が
		ものとなるよう配慮する。					すっきりとまとまりのある
		 ・敷地内に複数の建築物を設ける場合は、これ					ものとなるよう配慮する。 2つの建物は統一性のある
		らの建築物等が相互に調和し、全体としてま	0	0	0	0	形態とし、調和するように
建		とまりのあるものとなるよう工夫する。	_				配慮する。
	形	・周辺のまち並みや黒瓦などの伝統的な家屋)*************************************
築	態	様式、田園、自然等の景観との調和を図ると					道路に面する部分には緑地 を設け、歩行者に圧迫感を
*	•	ともに、道路等の公共空間に面する部分は、	0	0	0	0	感じさせないよう配慮す
	意匠	歩行者等に与える圧迫感を和らげるようエ *****					న .
物	<u> </u>	大する。 ・谷筋、平地、沿岸部の集落や市街地に見られ					7キサルルイトヽハ、゚━゚リ゚オ゚ポロンタピゼヤが
		・谷舫、平地、石岸部の集谷や川街地に兄られ る地域ごとの伝統的な家屋様式と調和する	0		0	0	建物はシンプルな形態を採用し、周辺建物と調和する
		よう配慮する。))	よう配慮する。
		・旧市街地における建築物の屋根は、黒瓦の家					建物の高さを抑えるためフ
		並みと調和する勾配屋根とするよう配慮す					ラット屋根を採用するが、
		る。				0	旧市街地の家並みと調和す
							るよう、黒色の素材を採用 する。
		・外壁、屋根等の基調となる色彩は、高い彩度					外壁・屋根は、明度・彩度
		を避けるほか、背景となるまち並み、自然等		(を抑えた黒、グレー、白を
		と色相や色調をそろえるなど、周辺の景観と	0	0	0	0	採用し、周辺のまち並みと
		調和するよう工夫する。					調和するよう配慮する。
		・敷地内に複数の建築物等を設ける場合は、全	_				2つの建物は全体の色調を
		体の色調をそろえるなど、相互の色彩が調和	0	\circ	0	0	そろえ、相互の色彩が調和
建		するよう工夫する。 ・建築物に付帯する屋外設備機器、広告物等の					するように配慮する。
		一・建築物に竹帯する屋外設備機器、広古物等の一色彩は、建築物と色相をそろえるなど、建築	0	0	0	0	屋外設備機器や広告物は建
555°	<i>t</i> z.	物本体の色彩と調和するよう工夫する。)))	物と色調をそろえる。
築	色彩	・外壁、屋根等に強調色を使用する場合は、そ					
	112	の色彩や使用範囲、使用部位等の構成が建築	0	0	0	0	強調色は使用しない。
物		物全体として調和し、周辺の景観とも調和す)			強心とは反角でなり。
		るよう工夫する。					
		・太陽光発電設備等を屋根・外壁等に設置する					太陽光発電設備は道路から 見えないように最上階の屋
		場合は、パネルの色彩を屋根・外壁の色彩と 調和するものとする。	0	0	0	0	上に設置し、黒色のパネル
		рщ 7 н у го то	l				を採用する。
		・旧市街地における建築物の屋根は、黒瓦の家					黒瓦に配慮し、外壁の一部
		並みと調和する黒系の低彩度の色調とする				0	に黒色の金属パネルを採用
		よう配慮する。	-				する。
		・耐久性があり、汚れにくいなど、維持管理が 容易で経年による景観上の質の低下が少な					外壁には耐久性のある金属 パネルやコンクリート、漆
建		一谷勿く程中による京観上の真の似下が少な い素材を使用するよう配慮する。	0	0	0	0	・
			ļ	L,			容易なガラスを採用する。
築	素	・地域の優れた景観を特徴づける自然素材、伝	_				内装に氷見産の里山杉を使
未	ポ材	統的素材等を景観づくりに生かすよう工夫 オス	0	0	0	0	用する。
		する。 ・自然が豊かな地域や閑静な住宅地、歴史的な					
物		まち並みでは、反射性が高いなど、周辺から					反射性の少ない素材や仕上
		際立って見える素材の使用を避けるよう配	0	0	0	0	げのものを使用する。
		慮する。					
		・敷地内は、建築物の状況や地域の環境等に応					建物と国営の関に ウナン
建		じた樹種等でできる限り緑化するとともに、	0	\circ	0	0	建物と国道の間に、高木と 中木を交えた緑地を設ける
	地	周囲を囲う場合は、高さの異なる植栽等を組					よう計画する。
築	の緑	み合せて活用するよう配慮する。					
禾	緑化	・敷地内の優れた樹木や樹林は、できる限り保 存又は移植を行い、敷地の緑化や建築物の修	0	0	0	0	既存樹木はできる限り残す
		付入は移植を行い、 叛地の縁化や建築物の修 景に生かすよう工夫する。))	ように計画する。
ш			1	1	۱	ليب	

物		・道路等の公共空間に面する部分を緑化する など、まち並み等にうるおいを与えるよう配 慮する。	0	0	0	0	道路との境界に緑地を設 け、四季を楽しめるよう計 画する。	
		・敷地が海岸や、下田川、宇波川、阿尾川、余 川川、上庄川、湊川、仏生寺川、泉川などの 河川に近接する場合は、海岸・河川や、周辺 の緑との調和に配慮する。	0	0	0	0	敷地境界に緑地を設け周辺 の緑との調和に配慮する。	
建	そ	・屋外駐車場は、安全上及び防犯上支障のない 範囲で周囲に生垣等を設け、出入口の数や位 置を工夫するなど、景観に与える影響を軽減 するよう配慮する。また、舗装の色は高い彩 度を避け、周辺の景観と調和するよう工夫す る。	0	0	0	0	屋外駐車場は既存の出入口を利用し、周囲に芝生を計画する。	
築物	の他	・過度に明るい光や鮮やかな色の光が周囲に 散乱しないよう、周辺の状況に応じて照明方 法等を工夫するなど、夜間の景観に配慮す る。	0	0	0	0	間接照明を多く採用し、夜 間の景観に配慮する。	
		・敷地内の既存施設が景観を阻害している場合は、増築等に併せて景観に対する支障を減らすよう配慮する。	0	0	0	0	該当なし。	

備考

- 1 各項目について配慮や工夫した点を記入してください。
- 2 適否の欄は記入しないでください。

景観チェックリスト (工作物)

行為の担訴が次の4~の早知時歴のふと該业士でも															
行為の場所が次の4つの景観特性のうち該当するも のに○を付してください。								周辺景観の特性							
í	子筋:	集落	平地集落	沿岸部集落	市街地		県道〇〇線沿線に位置し、周囲には田園風景が 広がり、敷地の背後には里山が広がっている。								
	事頁	基準				谷筋集落	地集	沿岸部集落	街	適否					
	・行為の計画地及びその周辺地域の自然(海岸、河川、里山等)、田園、歴史、文化、まち並み等の景観上の特性を把握し、当該行為の景観づくりに適切に反映させる。					0	0	0	0	太陽光パネルを角度〇度、 高さ〇m以下、色彩を黒と することで、自然景観の中 で目立たないよう配慮す る。					
		慮っ 的な	辺の景観と四巻するとともに、 な発想や工夫の した魅力あふれ	水と緑の活用、 尊重などによ	、多様で創造 り、生き生き	0	0	0	0	太陽光パネルを角度〇度、 高さ最大〇m以下、色彩を					
		 ・都市計画法、建築基準法、屋外広告物法等の法令のほか、県の条例、計画等に基づく景積づくりに関連する施策や地域住民の景観でくり活動との整合に配慮する。 ・谷底平野、谷間、高台に形成される谷筋集落川沿い、山際、平野部に形成される平地集落氷見海岸などと一体を成す沿岸部集落のまち並みとの調和に配慮する。 					0	0	0						
	本項						0	0		太陽光パネルを角度〇度、 高さ〇m以下、色彩を黒と することで、自然景観の中 で目立たないよう配慮す る。					
		・黒瓦の家並みが美しい市街地や、歴史的な市 影を残す街道沿いのまち並みとの調和に 慮する。						†	0						
		・氷見海岸などの海岸景観、急峻な谷筋や平地 を緩やかに流れる河川景観を保全するため、 それら海岸・河川景観との調和に配慮する。					0	0	0	太陽光パネルを角度〇度、 高さ〇m以下、色彩を黒と することで、自然景観の中 で目立たないよう配慮す る。					
			見の地形を特徴 の調和に配慮す		等の自然環境	0									
	・棚田や平地に広がる良好な田園景観との調和に配慮する。				0	0			太陽光パネルを角度〇度、 高さ〇m以下、色彩を黒と することで、自然景観の中 で目立たないよう配慮す る。						
		地を	ジ・形状の大幅 を避けるよう配	見慮する。		0	0	0	0	地形・形状の大幅な改変は 生じない。					
工		道路	乍物の形態、ま 烙境界等からの	後退距離を工	夫する。 	0	0	0	0	道路からOm距離を取って 設置する。					
作物	位置・高	木等 観る ・ます	也内の歴史的な 等を保存するほ を損なうことの ち並みや通りに	tか、周辺のまり ないよう工夫 こ圧迫感を与え	ち並み等の景 する。	0	0	0	0	既存樹木を残すよう配慮する。 太陽光パネルを角度〇度、					
	か	•国道	勿は建てないよ ≦ 160 号、国道 海岸線及び立	415 号等の幹約		0	0	0	0	高さのm以下とし、圧迫感を与えないよう配慮する。 太陽光パネルを角度の度、 高さのm以下とし、眺望を					

		スカイラインを著しく阻害する工作物は建	J 			[]	阻害しないよう配慮する。
		てないよう配慮する。	ļ				
		・連続したまち並みが見られる地域では、連続					
		性に配慮した壁面の位置とするよう配慮す る。		0	0	0	該当しない。
		・主要な眺望点から、海岸線及び立山連峰への					 主要な眺望点から見える場
		眺望、山並みのスカイラインを著しく阻害す	0		0	\circ	王安な眺望点から見える場所にないが、太陽光パネル
		る工作物は建てないよう配慮する。)))	の角度や高さを配慮する。
		・使用部材数を抑え、設備配管等を遮へいする					使用部材は必要最小限と
		ほか、むやみに広告物等を設置しないなど、	0		0		し、まとまりのあるものと
		工作物自体がすっきりとまとまりのあるも)	
		のとなるよう配慮する。					なるよう配慮する。
		・敷地内に複数の工作物を設ける場合や建築					太陽光パネルの向き及び角
工		物の付属物として設ける場合は、これらの建築物や工作物が相互に調和し、全体としてま	0		0		度をそろえることで、まと
	πи	とまりのあるものとなるよう工夫する。				0	まりのあるものとなるよう
	形態						配慮する。
作	•	・周辺のまち並みや田園、自然等の景観との調					太陽光パネルの角度を○度
	意	和を図るとともに、道路等の公共空間に面す	0		0	0	
物	匠	る部分は、歩行者等に与える圧迫感を和らげ)	
		るよう工夫する。	ļ				与えないように配慮する。
		・施設については、谷筋、平地、沿岸部の集落					太陽光パネルを角度〇度、
		や市街地に見られる地域ごとの伝統的な家 屋様式と調和するよう配慮する。	0	0	0	\circ	高さ最大〇m以下、色彩を 黒とすることで、目立たな
		全体八と調和するよう印思する。					によう配慮する。
		・旧市街地における施設の屋根は、黒瓦の家並					
		みと調和する勾配屋根とするよう配慮する。				0	
		・工作物の基調となる色彩は、高い彩度を避け					
		るほか、背景となる黒瓦などの伝統的なまち	0		0		太陽光パネルは低彩度で目
		並み、自然等と色相や色調をそろえるなど、)	立たない黒色を使用する。
		周辺の景観と調和するよう工夫する。					
		・敷地内に複数の工作物を設ける場合は、全体 の色調をそろえるなど、相互の色彩が調和す					太陽光パネルや架台は全体
		の色調をそうたるなど、相互の色彩が調相するよう工夫する。	0	0	0	0	の色調をそろえることで調
		067±X700					和を図る。
		・工作物に付帯する屋外設備機器、広告物等の					付帯設備は低彩度で色調を
エ		色彩は、工作物と色相をそろえるなど、工作	0	0	0	0	そろえたものとする。
		物本体の色彩と調和するよう工夫する。					
16.	<i>h</i>	・工作物に強調色を使用する場合は、その色彩					
作	色彩	や使用範囲、使用部位等の構成が工作物全体	0	0	0	\circ	強調色は使用しない。
	オン	として調和し、周辺の景観とも調和するよう 工夫する。					
物		・太陽光発電設備等を屋根・外壁等に設置する					 太陽光パネルは黒色で反射
		場合は、パネルの色彩を屋根・外壁の色彩と		0			
		調和するものとする。	0		0	0	性の少ないものを採用す
			ļ				3.
		・旧市街地部における施設の屋根は、黒瓦の家					
		並みと調和する黒系の低彩度の色調とする よう配慮する。				0	
		・携帯電話基地局や太陽光発電設備等を設置					
		する場合は、周辺の景観と調和し、周辺から					太陽光パネルは黒色の目立
		の見え方に配慮した色彩とするよう工夫す	0	0	0	0	たないものを採用する。
		る。					
		・耐久性があり、汚れにくいなど、維持管理が					架台には防錆処理をしたも
工		容易で経年による景観上の質の低下が少な	0	0	0	0	のを用いる。
		い素材を使用するよう配慮する。	ļ				
<i>I</i> ⊱	素	・地域の優れた景観を特徴づける自然素材、伝 統的素材等を景観づくりに生かすよう工夫					太陽光パネル設置のため該
作	材	机的系列等を京観りくりに生かりより工大する。	0	0	0	0	当しないが、周囲の景観と
			ļ				調和するよう配慮する。
物		・自然が豊かな地域や閑静な住宅地、歴史的な		0	0	0	太陽光パネルは黒色で低反
		まち並みでは、反射性が高いなど、周辺から	0				射のものを採用する。
			•				

		際立って見える素材の使用を避けるよう配 慮する。					
		・敷地内は、工作物の状況や地域の環境等に応じた樹種等でできる限り緑化するとともに、 周囲を囲う場合は、高さの異なる植栽等を組 み合せて活用するよう配慮する。	0	0	0	0	道路に面する部分には植栽 を作って緑化する。
工.		・敷地内の優れた樹木や樹林は、できる限り保 存又は移植を行い、敷地の緑化や工作物の修 景に生かすよう工夫する。	0	0	0	0	既存樹木はできる限り残 し、修景に活用する。
作物	敷地の	・道路等の公共空間に面する部分を緑化する など、まち並み等にうるおいを与えるよう配 慮する。	0	0	0	0	道路に面する部分は緑化 し、まち並みにうるおいを 与えるよう配慮する。
	緑化	・敷地が海岸や、下田川、宇波川、阿尾川、余川川、上庄川、湊川、仏生寺川、泉川などの河川に近接する場合は、海岸・河川や、周辺の緑との調和に配慮する。	0	0	0	0	OO川周辺の景観を阻害しないよう、太陽光パネルの角度はO度、高さOmとし、目立たないよう配慮する。
工		・屋外駐車場は、安全上及び防犯上支障のない 範囲で周囲に生垣等を設け、出入口の数や位 置を工夫するなど、景観に与える影響を軽減 するよう配慮する。また、舗装の色は高い彩 度を避け、周辺の景観と調和するよう工夫す る。	0	0	0	0	該当しない
作	その他	・過度に明るい光や鮮やかな色の光が周囲に 散乱しないよう、周辺の状況に応じて照明方 法等を工夫するなど、夜間の景観に配慮す る。	0	0	0	0	太陽光パネルの設置のため、夜間の景観に影響を与 えるものではない。
物		・敷地内の既存施設が景観を阻害している場合は、増築等に併せて景観に対する支障を減らすよう配慮する。	0	0	0	0	該当しない。
		・太陽光発電設備等を敷地内に設置する場合 は、周囲を植栽で囲うなど、周辺からの見え 方に配慮する。	0	0	0	0	道路に面する部分には植栽 で囲って、周囲からの見え 方に配慮する。

備考

- 1 各項目について配慮や工夫した点を記入してください。
- 2 適否の欄は記入しないでください。

様式第4号(3) (第5条関係)

景観チェックリスト

記入例

(開発行為)(土地の区画形質の変更(水面の埋立て及び干拓を含む)) (屋外における物品の集積又は貯蔵)(鉱物の採掘又は土石の類の採取)

行為の場所が次の4つの景観特性のうち該当するも のに○を付してください。							周辺景観の特性							
のにし)を付し	ノてください。 			と 計画をはまる とまる とまる はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま は									
谷筋	集落	平地集落 沿岸部集落 市街地			当計画地は氷見市〇〇地内に位置し、標高は 〇mであり、計画地より〇側へ〇mの位置に 〇〇川が流れている。〇〇川に沿って耕作地 が広がっており、その周辺に〇〇集落があ る。									
事	項		基準		谷筋集落	平地集落			具体的な配慮又は工夫の 内容	適否				
		・行為の計画地及びその周辺地域の自然(海岸、河川、里山等)、田園、歴史、文化、まち並み等の景観上の特性を把握し、当該行為の景観づくりに適切に反映させる。					0	0	計画地は山林に囲まれており、土地の区画形質変更後は周囲に合わせた樹木を植栽する。					
		・周辺の景観と四季を通じて調和する よう配慮するとともに、水と緑の活 用、多様で創造的な発想や工夫の尊重 などにより、生き生きとした魅力あふ れる景観の創出を図る。			0	0	0	0	周辺景観との調和を図るため、法面は工事完了箇所から速やかに緑化を行う計画である。					
		・都市計画法、建築基準法、屋外広告物 法等の法令のほか、県の条例、計画等 に基づく景観づくりに関連する施策 や地域住民の景観づくり活動との整 合に配慮する。			0	0	0	0	関係法規を遵守する。					
基本	事項	・谷底平野、谷間、高台に形成される谷 筋集落、川沿い、山際、平野部に形成 される平地集落、氷見海岸などと一体 を成す沿岸部集落のまち並みとの調 和に配慮する。				0	0		近くに集落がないため、該当しない。					
		・黒瓦の家並みが美しい市街地や、歴史 的な面影を残す街道沿いのまち並み との調和に配慮する。						0						
		や平地を総 保全するた	どの海岸景観 爰やかに流れる とめ、それら海 記慮する。	5河川景観を	0	0	0	0	近くに海岸や河川はないた め、該当しない。					
		・氷見の地刑	ジを特徴づける)調和に配慮す		0				周囲の地形と調和するよ う、切土勾配(〇:〇)で 計画した。					
		***	也に広がる良好 ご配慮する。	子な田園景観	0	0			近くに棚田や田園はないた め、該当しない。					
	土地	・従来の地形 よう工夫す 形状の改変 望点から <i>0</i>	・形状をできる るとともに、 が必要な場合 O眺望を著しく	大幅な地形・ は、主要な眺	0	0	0	0	できる限り自然地形を残し、高低差は法面で処理する。					
	の形状		や、下田川、* 、上庄川、湊川)河川に近接す	、仏生寺川、 る場合は、海	0	0	0	0	人工的な直線や角ばった形 状とならないよう配慮す る。					
開発 行為		・優れた樹木	や樹林は、できたりほか、緑の		0	0	0	0	既存樹木はできる限り残す					

		動き 地域の理路体によりと地径体と		ı			
	土地	整え、地域の環境等に応じた樹種等で					よう配慮する。
	の緑	緑化するよう配慮する。		<u> </u>			
	が緑化	・敷地が海岸や、下田川、宇波川、阿尾					法面に〇〇を植樹するとと
	LL	川、余川川、上庄川、湊川、仏生寺川、			0		もに、種子吹き付けにより
		泉川などの河川に近接する場合は、海	0	0	0	0	緑化することで周辺の緑と
		岸・河川や、周辺の緑との調和に配慮					の調和に配慮する。
		する。		<u> </u>			
		・法面や擁壁は、規模を抑え、周囲の地					法面に○○を植樹するとと
	法面	形と滑らかに連続させるほか、自然素					もに、種子吹き付けにより
	の外	材等の仕上げや緑化を行うなど、周辺	0	0	0	0	緑化することで周辺景観へ
	観	の景観への影響を軽減するよう工夫					の影響を軽減するよう配慮
		する。					する。
		・従来の地形・形状をできる限り生かす					できる限り自然地形を残
		よう工夫するとともに、大幅な地形・					し、高低差は法面で処理す
		形状の改変が必要な場合は、主要な眺	0	0	\circ	0	
	1 14	望点からの眺望を著しく損なうこと					న
	土地	のないよう配慮する。					
	の形状	・敷地が海岸や、下田川、宇波川、阿尾		Γ	1		人工的な直線や角ばった形
1 10.	1/\	川、余川川、上庄川、湊川、仏生寺川、					
土地		泉川などの河川に近接する場合は、海	0	0	0	0	状とならないよう配慮す
の区		岸・河川と調和した形状となるよう配	_	_	_	_	る。
画形質の		慮する。					
変更		・優れた樹木や樹林は、できる限り保存					既存樹木は移植し残す計画
(水面		又は移植を行うほか、緑の生育環境を					
の埋	土地の緑	整え、地域の環境等に応じた樹種等で	0	0	0	0	である。
立て		緑化するよう配慮する。					
及び		・敷地が海岸や、下田川、宇波川、阿尾					法面に○○を植樹するとと
干拓	化化						法国にOOを恒例すること もに、種子吹き付けにより
を含	76	川、余川川、上庄川、湊川、仏生寺川、					緑化することで周辺の緑と
む。)		泉川などの河川に近接する場合は、海	0	0	0	0	の調和に配慮する。
		岸・河川や、周辺の緑との調和に配慮					くというさい この はい とう ひっ
		する。					ナ <i>茶に</i> へのを特料する!-!-
	法面 の外 観	・法面や擁壁は、規模を抑え、周囲の地					法面に〇〇を植樹するとと
		形と滑らかに連続させるほか、自然素		_			もに、種子吹き付けにより 緑化することで周辺の緑と
		材等の仕上げや緑化を行うなど、周辺	0		0	0	70 70 70 70 70 70 70 70
		の景観への影響を軽減するよう工夫					いがはたことでは、 という はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい
		する。					
	集積	・集積等は、高さを抑え、整然と行うな					堆積場は道路境界から〇m離
屋外	又は 貯蔵	ど、できる限りすっきりと見えるよう	0				し、高さ最大Om(1 段Omと
屋がにお		工夫するほか、道路境界等から離すな					-
ける	の方	ど、歩行者等に与える圧迫感を和らげ		0	0	0	し)、法面勾配O:O以内とし、
物品	法	るよう配慮する。					各段には幅Omの犬走を設け、
の集							整然に見えるよう配慮する。
積又		・植栽等で遮へいし、出入口を目立たな					堆積場は入口からOm離れた位
は貯	遮へ	い位置に設けるなど、周囲の道路から					
蔵	い	見えにくくするほか、主要な眺望点か	0	0	0	0	置に設け、周辺道路から見えに
	۷,	らの眺望を損なわないよう配慮する。					くくする計画である。
		・植栽等で遮へいし、出入口を目立たな					計画地の周囲に緩衝緑地帯を設
	遮へ	い位置に設けるなど、周囲の道路から					
	. —	い位直に設けるなど、周囲の退路から 見えにくくするほか、主要な眺望点か	0	0	\circ	0	け、掘削範囲は工事完了後、周
鉱物	11						囲に合わせて樹木を植栽する。
の採		らの眺望を損なわないよう配慮する。 ・地形・形状の改変をできる限り小さく					
掘又	跡地			ĺ			周囲の地形と調和するよ
は土	の形	するよう配慮するとともに、法面は、	0	0	\circ	0	う、切土勾配(〇:〇)で
石の	状	規模を抑え、周囲の地形と滑らかに連					計画した。
類の		続するよう工夫する。					
採取	敷地	・採掘等が終了したところから、自然に					周辺の景観との調和を図るた
	敷地 の緑 化	近い緑の生育環境を整え、地域の環境	0	0	0	0	め、完成した法面より順次、緑
		等に応じた樹種等を用いるなど、速や		-			化を行う計画とした。
	, _	かに緑が復元するよう工夫する。					しとはノロ圏とした。

備考

- 1 各項目について配慮や工夫した点を記入してください。
- 2 適否の欄は記入しないでください。